

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

11

November, 2014

vol. 393

Contents

建築探訪…01

会員仕事紹介…03

支部だより…05

旅行記…07

委員会活動報告…09

編集者のつぶやき…10



建築探訪

第2の故郷 大分を訪ねて

横浜支部 佐藤 光良

4月初旬、約10年ぶりに13年前日事連建築コンクールで奨励賞を戴いた建物を訪れました。その建物の会社は大凡10年前に倒産してしまい、建物に行く機会が失われていたのです。20年程前には、その会社の大分進出のきっかけになった工場も設計しており、第2の故郷と思う程人との繋がりができ親しみ抱いた大分でした。その大分の繁華街の中心のある料理店の女将さんとは、私が「お母ちゃん」と呼ぶほど親しくなりました。来年移住してしまうと大分に行くことはもう無くなるかもしれないと、思い切って会いに行くことにしたのです。そして、この機会に足を伸ばしその工場を訪ねて行ったのです。建物は別会社に売却されていました。少し経年変化こそあれ竣工時のままに佇んでいました。恐る恐る玄関で内線電話を掛け来訪の趣旨を告げますと、ある社員が現れました。その方は元の会社の社員だったのです。旧知の方と会えたことで肩の荷が下り、建物に案内頂きました。親しかった当時の担当者もその会社で働いているということで、その夜はその方を含め大いに「お母ちゃん」の店で盛り上がったことは言うまでもありません。

前振りが永くなってしまいました。古い順に大分の私が気に入っている建物を紹介します。



大分銀行赤レンガ支店

最初は外観から察しがつくように、辰野金吾・片岡安設計の現大分銀行赤レンガ館です。第二十三国立銀行本店として明治43年に着工し大正2年竣工しました。赤レンガは東京駅と同じものを英国から直輸入して使用し、基礎は地中2mまで大理石で施工したとのこと。太平洋戦争末期には、空襲で壁を除き焼失しましたが、戦後修復され昭和41年迄大分銀行本店として使用されました。煉瓦造3階建スレート亜鉛メッキ鋼板葺、延面積1541.47㎡。私は同じ辰野金吾と地元出身の葛西萬司が設計した旧盛岡銀行本店（現岩手銀行中の橋支店）の方が迫力があると感じました。平成5年に大々的にリニューアルされ、現在も支店の他市民ホールとして使用されています。



赤レンガ館玄関

次は昭和25年に竣工したカトリック大分教会です。



カトリック大分教会

ご覧のように如何にも教会建築として堂々としています。内部は厳かな雰囲気です。歴史を感じ



大分教会内部

させます。長崎教区から独立しての最初の教区長は、サレジオ会のチマッティ神父で、現在調布のチマッティ記念館の地下に、ご遺体が石棺の中で腐食せず安置されています。RC造平屋建、設計者と施工者は不明です。鐘楼の鐘は昭和27年ミラノから寄付されていますが、今でも朝6時と午後6時にすばらしい音を響かせてくれます。

最後は昭和44年に日本建築学会賞を受賞した旧大分県立図書館です。設計者は磯崎新氏。近くの磯崎氏設計の大分県医師会館は解体されてしまいましたが、この建物も平成7年に新県立図書館が出来た時に解体予定でしたが、保存運動が実り現在アートプラザとして市民に開放されています。RC造化粧打放し地下1階地上3階建。延面積4,341.6㎡。

おまけで大分ゆかりの聖フランシスコ・ザビエルの像です。1549年に日本に渡来した後、キ

リシタン大名の大友宗麟から招かれ、1551年に大分に来て宣教の舞台としました。府内城の目の前にこの像があります。次の年中国に布教のため渡りましたが、病気のためわずか46歳で天に召されました。その遺徳を称え、1969年にこの一画が整備されました。



大分市アートプラザ(旧県立図書館)



大分アートプラザ



聖フランシスコザビエル像

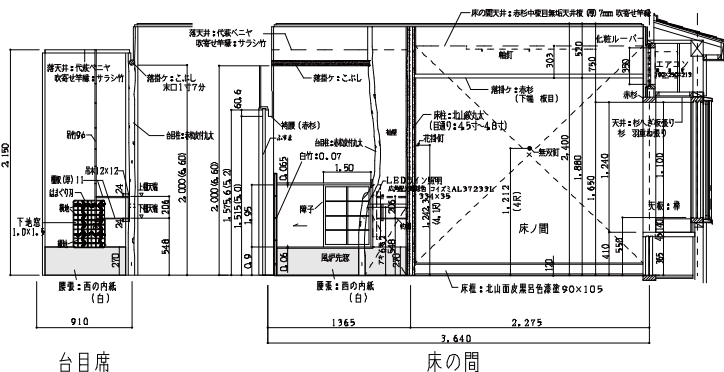
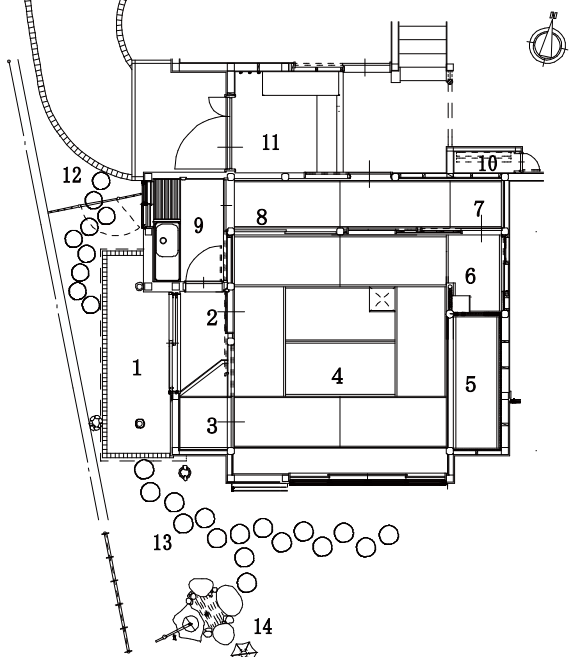
茶室「傳松庵」

県西支部 有限会社 門松廣司建築研究所

茶道（裏千家）の先生をされている友人から、茶室付き住宅を依頼され、今年1月に完成しました。8畳の茶室ですが、小間の稽古も出来るよう床脇に台目席を設け、廻り口も付けました。亭主・客の道線と茶道具が置かれた状態などを想定し、お茶を楽しみながら、静寂な心境に浸れる空間の創造をめざしました。



床柱：北山紋丸太、床框：北山面皮黒呂色漆塗、落掛け：吉野杉赤材



台目席

床の間

- 1.土庇 2. 躰口 3. 貴人口 4. 8畳席 5. 床の間
6. 台目席 7. 給仕口 8. 茶道口 9. 水屋 10. 替畳入
11. 住まい玄関 12. 枝折戸 13. 露地 14. 蹲踞



貴人口上部の扁額 ↑
地元大雄山の杉板に北条彰り（友人作）

掛込天井 →
蒲芯糸通し 竿縁：晒竹と北山磨き丸太



土間 ↑

京都の茶庭資材専門店から取寄せた、那智黒・白玉・伊勢銘



貴人口と躰口が並ぶユニークな茶室 広間席と小間席の二通りの稽古が出来る



躰口から茶室の眺め 藁床本畳に濃紺縁



台目構えの点前座
客座に対しやや低くした天井が
謙った亭主の姿勢をあらわしている



台目席から客座側を見る
袖壁中柱は赤松皮付丸太

敷地面積	238.88㎡	構造規模	木造2階建
建築面積	100.19㎡		神奈川県産木材：15.63㎡(65%)使用
延床面積	136.63㎡	設計期間	2013年3月～6月
茶室床面積	27.32㎡	工事期間	2013年7月～2014年1月



篋より手水鉢へ清水が導かれ、水音が心を癒す



床脇の下地窓は、台目席お点前の手元を照らす
(下地窓：はまぐり刃左官仕上)



網代天井の畳廊下 突当りに水屋が見える
右手の太鼓機から住まい玄関ホールへ通じる



住まいから茶室への出入口に設けられた火盤口
小口はサビ竹が使われている

役石の配置や高さは、つくばい柄杓を扱ってもらい構成した



手水鉢と燈籠は既存のもの（下写真）を再利用し、
湯桶石（左）・手燭石（右）・前石は本鞍馬石を産地から直送してもらった



枝折戸と飛石は、クライアント父親の作

支部だより 初めてのフットサル (スポーツ大会報告)

川崎支部 田中 成佳

今年度のスポーツ大会は川崎支部が担当でした。雨天でも実施可能、懇親会もセットで用意できる交通の便の良い所として、川崎駅そばで、レストランが隣にある全天候型のコートが会場のフットサルとしました。ただし、事故を避けるためと全くの未経験者でも体を動かし、フットサルの雰囲気を感じてもらうため、ボールゲームを2種類用意すること。フットサルのゲーム自体も接触プレー禁止や、キーパーの膝上に来るシュートはマイナス1点とするなどの「ガチ禁止川崎ルール」などを決めました。



お借りしたコートは2面ありましたが、1面は2時間、他の1面は3時間という変則的なものでした。また、ブロックによって参加人数にばらつきがあり、やむなく参加の多いブロックから少しずつ人を集めた混成を含む8チームとしました。この体制でネットによって仕切られ相互の移動もままならない2面のコートで2種類のボールゲームを20ゲーム、紅白戦2試合のフットサルをす



るという複雑な運営となりました。

ボールゲームは未経験者中心でコート中央からシュートによるコーン倒しと、ドリブル&シュート、そしてある程度経験のある人によるフットサル紅白戦としました。5分以内のボールゲームは慣れた人には物足りなくてもウォーミングアップになるし、初めての人間には新鮮で、トーナメントにしたことで、結構盛り上がりました。経験者による紅白戦は間近に見ると攻守が目まぐるしく入れ替わり、スピードのある動きは、見ていなくても楽しいものでした。ただ横浜支部の会員がけがをされたのが残念です。一日も早いご回復をお祈りします。

ゲーム後の懇親会には大半の人が参加していただき、より親睦を深めることができました。

初めての企画に計画の細部を詰め、裏方に徹してくれた川崎支部、連絡調整をすべてこなし事務局、前例のない企画にOKを出したブロック支部委員会、そして何より、ゲームに参加していただいた会員の皆様に感謝いたします。



支部だより 海老名支部の活動

海老名支部長 加藤 昌義

私たち海老名支部は、昭和61年に4社で発足し、28年目を迎えた今年は14社の会員数で構成されています。

活動内容は、毎月1回の定例会(第2金曜日)と建築相談(第3木曜日)の開催。海老名市の助成事業の一つである木造住宅耐震相談(年4回)などを行っています。委員会組織では、総務・研修・業務各委員会をはじめ、本会や地元行政の専門委員会、関係団体への出向者達が定例会において、本会・県央ブロック・当支部の報告、協議、決議事項の議論に積極的に加わり、議題終了後の雑談の中では、個人が抱えている問題や悩みなどを投げ掛け、皆で意見交換を行っています。また、時には各委員会が担当で、法規や構造、新製品の勉強会なども欠かせません。

恒例の納涼例会では、半日～1日かけて建物関係の視察研修を兼ねて終了後、懇親会というパターン。今夏は、6月末に開通した圏央道を利用し、海老名ICから1時間程度で深大寺に到着。神聖な気持ちで参拝と昼食を済ませて目的地「江戸東京たてもの園」(小金井市)に。この施設は、東京都が平成

5年に江戸東京博物館の分館として建設。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示すると共に、貴重な文化遺産として次代に継承することを目指しています。

今回のこの納涼例会視察研修や全国(地方)大会、そして毎月の定例会には、当支部では出席率がいつも80%前後を上回ります。これは歴代支部長の時代から続く、非常に喜ばしい支部としての誇るところであります。先輩支部長をはじめ、各会員諸氏の支部に対する関わりの深さに感謝致しますと共に、これからも海老名市の発展と設計事務所存在感高揚に寄与して参りたいと思います。



旅行記

スペイン巡行記 前編

お帰りなさいませ、高野さま。KLAの帰便で担当CAがシャンパンを注いでくれた。

このグラスの中の気泡を見ていると、非日常的だった生活とシンクロされる・・・。

バルセロナのプラット国際空港からRENFEでサンツ駅に向かう途中、突然トランペットが鳴り響いた。いきなり列車の中での強烈なパフォーマンスである。嗚呼、スペインに来たのだなと実感させられる。

連日、レンタのVespa250でバルセロナの街を滑走し建築物を物色してはバルに通う日々である。しかし夜21時になってもまだ太陽が燦々と輝き、一体何時になったら暗くなるのだらうと思いながら、ついついシャンパニエト（白ワインと炭酸ガス）とアンチョア（鰯のオイル漬け）が進んでしまう。何せ安くて絶品なのである。ピンチョ（薄切りフランスパンに様々な具を載せたタパス）やオリーバをつまみにセルベサ（ビール）で何軒もハシゴをしてしまう。スペイン人は如何に人生を謳歌し楽しむかを知っている。食事も人生における最大の楽しみのひとつなのである。ファーストフードなんてものはイカンのである。

さてスペインの建築物をご紹介したいのだが、何せバルセロナとマドリッドだけで60ヵ所位を巡り、その他にはコルドバ、マラガ、ミハス、アルヘシラス、タリファ、イビサ、そしてフォルメンテラと移動したので、勿論ここでは紹介しきれず、バルセロナの一部を紹介するとしましょう。まずは花の建築家 Lluís Domènech が1908年に設計し Òscar Tusquets らが改修したカタロニア音楽堂である。カタロニア・モデルニスモの代表作として、バルセロナの象徴的な建物である。レリーフの一部などがドメネクにリスペクトしているのが想像できる。やはり何と言ってもホールの華麗な万華鏡デザインが圧巻である。

次に Santiago Calatrava の Montjuïc Tower。オリンピックのシンボルタワーでテレコミュニケーションの機能が付加されている。このタワーと台座の接点部分の面積の異常に小さい事やアンテナの支持構造の細かさに驚愕させられる。重力的緊張感があり擬人化的な様相で有機的なデザインだが、日時計として時を刻む面も有り感嘆のあまり背筋がゾクッとする。Antoni Gaudí の Iglesia de la Colonia Güell はガウディの最高傑作との声もあるが、完成したのは地下の聖堂のみで未完成作品である。椅子やステンド

鎌倉支部 高野 淳一

グラス、水飲みまでも彼の設計で粗石造の支柱が傾斜しているのはフニクラ構造である。郊外だが近所のCaféの親父が曰く「ガウディ好きの日本人ばかりが多く来るよ」って。Jean Nouvel の Torre Agbar も凄い。通称アグバル。グロリアス広場の近くの水道局タワーであるが町並みに合わなく地元では座薬みたいだと不評である。しかも夜は妖艶に光っている。だが存在感があることは否めない。ここの近くの若手の建築家 Fermín Vázquez の Encants は楽しい。紙飛行機をイメージした近未来的蚤の市である。斬新で回廊のスロープの売り場が傾いているがスペイン人は全く気にしない。ここは女性の下着から拳銃まで、何でも売っていて一日居ても楽しく全く飽きない場所なのに、ハポネス (Japanese) は私ひとりだけだ。

その他に Ricardo Bofill の Walden 7。バルセロナ郊外で内外部空間に異なる表情があり、内部の吹抜け空間はブルーのタイル貼りで外部は半円形、1/4の円形テラスが賑やかである。

事務所は横のセメント工場の廃墟を改修し、シリンドー形セメントサイロが独特である。

Bofill は地元バルセロナでは未だ大御所としての存在感を維持し、10年紆余屈折を経たバルセロナ空港 T1 も彼の設計である。

そう言えば一つ注意しないといけない事がある。スペインは犬の散歩に糞バックなどは持たないのである。当然あちこち雲古だらけで、上ばかり見ていると当然、運を踏む。

自然に出たものは自然に帰るというものである。だが、全ての犬にマイクロチップ装着義務の一面もあり、自由と義務の極端は流石である。

今回はマドリッドを紹介する。



カタロニア音楽堂ホールの万華鏡デザイン



ガウディのグエル教会のステンドグラス



ジャン・ヌーベルのトーレ・アグバル

8



サンティアゴ・カラトラバのモンジュイックタワー



フェルミル・バスケスの蟹の市



リカルド・ボフィルのウォールデンフ



リカルド・ボフィルの事務所

委員会活動報告 ～法制委員会～

神事協会員の皆様、私たち法制委員会は今年度に発足した新しい委員会です。

今年度以降に予定されています、土法・基準法の改正、省エネ法等々、また行政庁レベルでの条例等の調査、もっと身近な法令関係の諸問題に対して、委員会として会員の皆様に新しい情報をお伝えする役目を担っていると考えています。

各支部から、一名の委員を選出していただいて、原則隔月に開催をしています。しかし、私も含めなにもぶんにスタートしたばかりですので、他委員会委員長の御協力を頂きながら、まだまだですが、法令・条例関係の、ご意見・ご希望・ご質問等ありましたら事務局までお知らせ下さる様お願い申し上げます。

去る9月5日に、発足後初めての法制委員会主催の講習会「既存不適格建築物の留意すべき事項について」を、横浜市建築局建築指導部建築安全課の方々に講師にお招きして開催させていただきました。講師の皆様また会員の皆様のお蔭をもちまして、定員30名のところ45名のお申込み

法制委員会 委員長 柏木 健司

いただき、大盛況のうちに終えることが出来ました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

「既存不適格建築物」については、扱うべくテーマについて当委員会で議論が繰り返される中で、まずは私たち設計事務所が日々扱う業務で直面する身近な問題点を取り上げてはどうか。という方向で意見がまとまり、近年社会問題としても取り上げられる事が増えている建築物ストックの活用方法を取り上げ、「既存不適格建築物」の改修に関わる問題点を整理・解説する講習会を開催することになった次第です。

今後は既にご案内の通り、来る12月1日(月)に海老名市文化会館小ホールで、12日(金)には横浜市技能文化会館多目的ホールにて、「建築基準法及び土法改正について」「検査済証のない既存建築物について」をできるだけわかりやすく解説する講習会を開催いたしますので、会員の皆様、ぜひ申込みお願い申し上げます。これも初めての法制委員会の紹介とさせていただきます。



前列左から 芝副会長 柏木委員長 小山委員 門谷委員 田中副委員長
後列左から 岩田委員 高橋委員 井上委員 (欠席) 志村委員

新入会員のご紹介

11月1日付け入会者

横浜支部

一級建築士事務所Kプランニング 桑原 正
〒223-0053横浜市港北区綱島西 2-11-24-506
TEL.045-642-8700 FAX.045-642-8700

退会者

横浜支部

株式会社鈴木設計工務所一級建築士事務所 鈴木 隆
一級建築士事務所集住計画 柴原 達明
株式会社エス・デー・ジー建築設計事務所 相原 俊弘

賛助会新入会員

平成26年度入会者

株式会社建築構造センター神奈川事務所

【事務局より】

～信頼のあかし 建築士事務所協会～

みらいふれあいフェスティバル2014を開催いたします。

日時：平成26年11月14日（金）12：00～18：00

15日（土）10：30～17：00

会場：横浜ワールドポーターズ 6F

イベントホールA・B及び会議室3

（横浜市中区新港2-2-1）

内容：講習会・セミナー、イベント、賛助会企業による商品PR
や技術提供および協会による建築相談、活動PR等々

◆詳細は、チラシ・ホームページをご覧ください。

入場無料にて行いますので、皆様お誘いあわせの上お越しください。お待ちしております。

会 勢

平成26年11月1日現在

支部名	平成26年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	254	263	16	7	9
川 崎	108	106	0	2	-2
横 須 賀	51	51	1	1	0
湘 南 三 浦	18	18	0	0	0
藤 沢	24	23	0	1	-1
鎌 倉	38	37	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	18	18	0	0	0
平 塚	22	21	0	1	-1
秦 野	19	19	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大和綾瀬	20	19	1	2	-1
厚 木	32	32	0	0	0
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	15	14	0	1	-1
愛 川	8	7	0	1	-1
相 模 原	79	77	1	3	-2
県 西	47	44	1	4	-3
合 計	773	769	20	24	-4
賛助会員	78	78	8	8	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

編集者のつぶやき

台風一過

ひさしぶりの秋晴れの1日を散歩に過ごすことができました。日ごろ部屋にこもっているのたまには気分が変わっていいです。

平塚八幡山にある旧横浜ゴム平塚製造所記念館を庭園のバラの花を見ながら訪問しました。

この建物は日本火薬製造株式会社平塚工場の建設監督として英国ノーベル社から派遣されたカーリとその補助ウィルソンによって設計されたと推測されています。

建築的に特徴ある箇所として、よく整った搭屋の形、主屋のアーチ窓や上下に施された装飾、北側の壁に設けられたベイウインドウ（出窓）などがあげられます。明治期の木造洋風建築の佳品とまでいわれています。国の登録有形文化財として平成16年に登録されています。

近年は各地にある洋風建築を保存しようという気風が生まれています。この建物もその一端を担う建物です。

【新倉 良一】



かながわ 平成26年11月号（通号393号）

発行 平成26年11月1日（奇数月1日発行）

発行人 小林 忠志

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F

TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

・担当副会長 芝 京子
・広報情報委員長 白川 正孝
・広報情報副委員長 宮寺 透雄 小泉 厚
・広報情報委員 森 雄治 恩田 耕爾 棚橋 由佳
・新倉 良一 坪井 教一 杉本 勝郎
・事務局 小林 恵美



逸見波止場衛門より米海軍基地を望む

今月の表紙

ヴェルニー公園

幕末、横須賀製鉄所（現米海軍基地）の建設に貢献したフランス人技師ヴェルニーに由来する都市公園。

公園はフランス式庭園様式を取り入れており、園内にはヴェルニーの功績をたたえて建てられたヴェルニー記念館やガレットが食べられるカフェレストランがあり、海沿いのボードウォークからは米海軍基地が望め、潮風の中での散策が楽しめます。

来年、横須賀製鉄所は建設150年を迎えます。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association